

荒川区商連ニュース

No.239
2015.4.30

発行

荒川区商店街連合会
〒116-0002
荒川区荒川 2-2-3
荒川区役所 6階
産業振興課内
TEL 03-3803-3003
FAX 03-3802-3646
発行人 小野塚 鷹一

編集

諏訪山デザイン事務所
Eメール：
arakawa@j-passage.com

本号の主な内容

- 1=臨時対策プレミアム付き荒川区内共通お買い物券
- 2=フロン区役所/あらかわ逸品の会/小規模事業者経営力強化支援補助金/区産業経済部人事
- 3=区商連主婦研修会報告、青年部だより22
- 4~5=川の手祭り&商業祭開催報告
- 6~8=第2回商店街懇談会報告/町屋・荒川地区

5 (日) / 31
第9弾

臨時対策プレミアム付き 荒川区内共通お買い物券 販売のご案内!

今回、
総額 **とんと**
3億6千万円

平成27年度、国の景気及び消費対策として全国規模で実施されるプレミアム付きお買い物券、荒川区は3億円分（プレミアム込みで3億6千万円分）が5月31日午前10時から28商店街で一斉に発売される。



お買い物券をバネに 地元あらかわを 商店街から元気にしよう!

■**プレミアム率は20%で実施**

例年、暮れに実施されているプレミアム付き区内共通お買い物券事業は、臨時景気対策として、今回暮れとは別に、5月に臨時事業として実施される。プレミアム付きお買い物券の発売は通算で第9弾となるが、発行規模は例年以上の額面総額3億6千万円と規模が大きくなった。

今回のプレミアム付き区内共通お買い物券の実施方法は、プレミアム率が20%になる他は、例年の方式と同様となる。プレミアム率が20%なので、お買い物券は1冊1万円で購入されるが、1冊の使用額面は1万2千円分（1冊に500円券が24枚）

第9弾 臨時対策
プレミアム付き荒川区内共通
お買い物券販売商店会

商店会名
ジョイフル三の輪
南千住商友会
南千住仲通り商店会
コッ通り商店会
南千住六丁目日本町会商店会
べるぼうと汐入商店会
間道商興会
荒川仲町通り商店会
町屋駅前銀座商店会
まちやアベニュー
町屋稲荷前通り商店会稲穂会
ちんちん通り商店会
旭電化通り商光会商店街
尾竹橋通り三栄会商店街
ふれあいCITYおぐぎんざ
はっぴいもーる熊野前
小台本銀座商店街
東京女子医大通り宮前商店会
あっぷるロード小台
小台橋みずき通り商店会
小台本銀座柳会
遊園地通り商興会
正庭商栄会
かんかん森商興会
日暮里中央商業会
にっぽりピアチェーレ
道灌山通り商和会
冠新道商興会
合計 (28 商店会)

お店に華やかなムードを演出する!!

製造卸
旗・幕 のれん 四季の装飾
Xマス用品・七夕飾り
提灯・ポリ造花

装飾造花

カマトシ

〒121-0064 足立区保木間1-8-15
TEL 3883-8146 (代)

と例年の2倍お得となる。購入は一人5冊まで、使用期限は発売から半年の年内11月30日迄となる。

特に今回のプレミアム付きお買い物券は、国の補助事業であり、お隣の北区、台東区、足立区も同様の事業を行う。荒川区の取扱い店舗は商店会各店のがんばりで、1千店を超える予定だが、お得で使いやすいお買い物券として、他区以上に、地元あらかわの消費者に喜ばれる効果を期待したい。

◆**商店会会員各位**◆
プレミアム付き区内共通お買い物券は、国の景気及び消費対策の補助事業です。商店会会員の購入は自粛をお願いいたします。

『あらかわ逸品の会』おすすめのエピソードを初披露

『あらかわ逸品の会』は、3月14日(土)、15日(日)に開催された第36回荒川区産業展において、1年間にわたる研究の成果として、11店舗が結束して創り出した新商品・新サービスを披露した。「一店逸品運動」とは、個店が他店にはない魅力的な商品等を開発・発掘し、お客様にPRすることによって、新規顧客の開拓やリピーターの増加に繋げ、個店の活性化とともに商店街全体の賑わい創出を図る取り組みである。



●「逸品フェア」開催

『あらかわ逸品の会』では、産業展で実施した発表会に続き、3月16日(月)から29日(日)までの期間、「逸品フェア」を開催した。参加店は、逸品の写真入りパネルを店内に掲載するとともに、ブラックボードやのぼり旗を活用して積極的なPRに取り組んだ。各店舗には、発表会の来場者やポストティングしたチラシを見

て来店する方、ブラックボードに興味をひかれ逸品を購入するお客様もおり、参加店主の皆さんもこれまでの取り組みに手ごたえを感じている。



●参加店主が効果を検証

発表会・逸品フェアを終えて、店主の皆さんが実施した意見交換会では、発表会のイベント効果やこれまでの研究会等の取り組みを評価する一方、逸品の改善点や広報活動の充実、研究会等の運営体制の見直しなど改善点についても活発に議論が交わされた。

27年度においても『あらかわ逸品の会』は、お店を強く印象付ける逸品の開発に参加店同士が協力して、活動を展開する。区としても、商店街活性化の取り組みの核として、意欲ある個店を積極的に支援し、参加店の拡大を図っていく。

荒川区小規模事業者経営力強化支援事業補助金の拡充

荒川区では、区内産業を支えてきた多くの小規模事業者の経営力の強化を図り、今後の成長に繋げるため、メニューを充実させて補助金を実施する。

昨年度、商店街の店舗では、業務用冷蔵庫や店舗用空調の取替、店舗の内装工事などに活用され、取扱商品の品質向上や来客の増加に繋がっている。

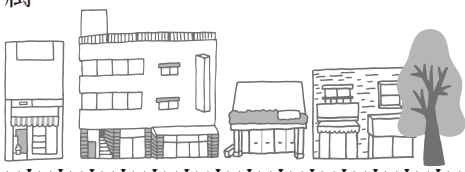
＜補助金メニュー＞

1. 設備補助(補助上限100万円)
(補助内容) 生産活動、販売活動、役務提供活動その他収益を得るために直接的に必要な設備
(対象事例) 製造装置・機械、印刷機、厨房器具、陳列棚、業務用空調 等 ☆新たに対象となったもの フォークリフト、貨物運送用自動車 (貨物運送事業者の許可を得ており、かつ緑ナンバー・黒ナンバー等の事業用自動車に限る)、区外の設備も対象に!
2. 女性活躍整備補助(補助上限100万円)
(補助内容) 女性が働きやすい職場環境を整備するために必要な設備
(対象事例) トイレ、更衣室、託児施設の他、女性が働きやすい環境の整備と認められるもの
3. ICT販売力強化補助(補助上限20万円)
(補助内容) ICT技術を用いて、販路拡大に繋げるために必要なシステムの構築
(対象事例) 小売業が自らネット販売を構築する際の経費 (作成業者への委託費、サーバ・ドメイン関連初期費用等)、小売業が、ネット販売サイトへ出店する際に必要な初期経費
4. 集客力向上補助(補助上限5万円)
(補助内容) 一般消費者に販売する事業 (小売業又はサービス業等) において集客に繋がることが期待できる備品等
(対象事例) レジスター、簡易照明、ショーケース、食品サンプル、エアコン 等

◆平成27年度 産業経済部の幹部職員等

産業経済部長	石原 久
産業振興課長	吉野 豊喜
産業振興課商業振興係長	佐藤 彰洋
主任主事	金子 真美
主任主事	高橋 誠 (国保年金課)
主任主事	荒城 信介 (新規採用)
経営支援課長	勝田 健一
就労支援課長	前田 徳英
雇用政策課長	釜井 広之 (再任用)
観光振興課長	中野 猛 (総務企画課)

※ () 内は、前所属



杉並・高円寺純情商店街視察

区商連主婦研修会報告

3月24日(火)、風が冷たい快晴の日和、参加全34名で婦人部の視察研修が行われた。視察の主要内容は、昭和初期の看板建築が移築保存されている「江戸東京たてもの園」と、百万人もの動員で知られる高円寺阿波踊りのお膝元、高円寺純情商店街(正式名、高円寺銀座商店会協同組合)での商店街役員との研修会。

高円寺の阿波踊りは、駅周辺の狭い地域での開催にもかかわらず、百万人規模のイベントを50年以上開催、それを無事故で運営してきた。開催時の地元警察との信頼関係、実施を支える駅圏の14商店街で構成



組合事務所での研修会(正面右から高円寺純情商店街の久保田理事長、吉田専務理事)



平成25年にリニューアルの純情商店街アーチ

する高円寺商店会連合会の運営など、大いに勉強する事が出来た。今年も、阿波踊りの本場、高知からこの実施テクニクを学びに、30余名の視察団が来るとの事。一昨年、50周年を迎えた高円寺阿波踊りも、最初は細々と商店街の有志が始めた事がきっかけ、継続は力をつけて開催、現在では商店街主催から、町会や地域の団体も集約したNPO組織、東京高円寺阿波踊り振興協会が実施している。阿波踊りの他、年間6回もの大きなイベントを行っている事やその実施の苦労話等、当荒川区の商店街イベントにも参考となる数多くの啓示を頂く事が出来た。

区商連青年部だより ②

◆二世研修会シンポジウム開催

4月15日午後8時から、荒川区振連の二世研修会シンポジウム「がんばる商店を応援します!懇談会」の副題で、区役所6階研修室で開催した。参加者は中小企業診断士3名、商連青年部及び区内商店主あわせて34名。今回のシンポジウムは通常のセミナー形式でなく、区内の商業に精通した診断士の方々と実践で成果を上げている区商連青年部とのディスカッション形式で行われた。



狭い会場いっぱいの参加者で盛り上がったシンポジウム

主な内容は、①街なか商店塾(街ゼミ)の4年間の活動と成果②昨年より始まった一店逸品運動の状況や活動③区内商店でウェブを活用し集客に効果を上げている事例、ITが苦手な人でも取り組みやすいフェイスブックページの活用など、地元荒川区内の個店や商店街の活性化に役立つ手法の紹介等。

パネラーからは、「荒川区は、街なか商店塾や一店逸品運動など『がんばる商店』への支援策に力を入れており、これらの支援策を元氣な店づくりに活用しない手はない」といった助言なども出された。また、予定の時間では収まらないほど質疑応答も活発に展開され、実り多い研修会となった。

今回の紹介事例を経営に取り込み、順に活用すると、以下のような好循環で繁盛店に生まれ変わる可能性も。

- ①街なか商店塾に参加(現状分析)
↓ 自店の魅力を再発見
- ②一店逸品運動(魅力の再発見)
↓ 自信の商品&サービス開発
- ③ウェブ&IT活用(付加価値情報)
↓ 数多くの新しい顧客獲得

街なか商店塾(街ゼミ) & 一店逸品運動 参加店募集

荒川区内のお店であれば、業種に関わらず参加できます。参加する事で、仲間ができ、行政支援も受けやすくなります。詳細は5月に各商店街に配布される文書をご覧ください

お問い合わせ/区商連青年部 事業担当:雨宮 TEL.3806-9938

荒川区内最大のイベント開催!!

第36回 商業祭 共催 第29回 川の手荒川まつり

第36回荒川区商業祭、共催第29回川の手荒川まつりが4月29日の祝日、南千住野球場で開催された。当日は初夏を思わせる陽気の中、午前10時の開催に先立ち午前9時半からマーチングバンドパレードでスタート、夕方4時まで約7万8千人が来場、子育て世代からお年寄りまで、世代を越えイベントを楽しんだ。

主な内容は、区商連の各商店会やお店の「商業祭バザール」、「模擬店」、「我楽多市」、荒川区と交流している24自治体の物産販売や観光PRなどの「ふるさと市」、「官公署コーナー」、「福祉チャリティーコーナー」、スポーツ・遊び、緑化、国際交流、ダンスや音楽、空手、太鼓演奏、仮面ライダーライブ&鎧武ショー等の「ステージイベント」など。



商業祭会場で「ラッキーくじ」（最高5万円の区内共通お買い物券）を配布。抽選会は川の手スプリングセール（最高10万円の区内共通お買い物券）を先に開催、続けて「ラッキーくじ」の抽選を実施。

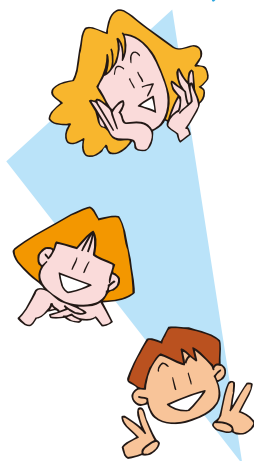
平成27年度
川の手スプリングセール
参加商店街と実施日

商店街名	実施日(4月)
ジョイフル三の輪	11日～18日
問道商興会	15日～25日
南千住商友会	20日～26日
南千住仲通り商店会	19日～28日
コツ通り商店会	23日～25日
べるぼーと汐入商店街	18日～25日
荒川仲町通り商店街	20日～25日
まちやアベニュー	18日～28日
旭電化通り商光会商店街	11日～28日
ふれあいCITYおぐざんざ	18日
はっぴいもーる熊野前	24日・25日
東京女子医大通り宮前商店会	23日～27日
小台本銀座商店街	16日～18日
あっぷるロード小台	17日～19日
小台橋みずぎ通り商店会	22日～27日
小台本銀座柳会	11日～18日
正庭商栄会	13日～19日
道灌山通り商和会	14日～26日
冠新道商興会	22日～25日

夢をかなえるパートナー



城北信用金庫
Johoku Shinkin



商業祭

現在、川の手荒川まつりと併催している荒川区商業祭だが、1979（昭和54）年に、区商連青年部が中心となり、区役所前公園で初開催。区内商店街有志によるバザール、模擬店、我楽多市などの商業イベント、交流都市や官公庁・各種団体も出店、数万人が集まる区内最大のイベントに成長。1986年から、商業祭以外のイベントを川の手荒川まつりとして同時開催としている。

会場は尾久の原公園、荒川遊園地、汐入公園、南千住野球場の4ヶ所での持ち回り開催、今年は南千住野球場で開催された。



10時半から各商店会から提供していただいた商品や不要品などを、格安で販売、好評だった我楽多市。



バザール会場は15店舗が出店、お買い得品を買い求める人垣も。



多くの人波で賑わう荒川総合スポーツセンター。



南千住通り商店会青年部、熊野前振組など10商店会&店舗が出店した模擬店、好天の日和で例年以上の売り上げか？



しんきんキャッシュカードなら、
全国約7,600店舗、約19,900台のCD・ATMのご利用が手数料無料。
全国にネットワークを持つしんきんならではのサービスです。

ゼロネットサービス時間帯 平日 8:45～18:00 入金・出金

※本サービスの対象とならない信用金庫CD・ATMが一部ございます。

☺☺ Face to Face

荒川区しんきん協議会

●朝日信用金庫 ●城北信用金庫 ●巣鴨信用金庫 ●瀧野川信用金庫 ●東京東信用金庫 (五十音順)
H24.4現在

荒川区の商店街は今!

地区別商店会役員懇談会報告 第2回 町屋・荒川地区

■出席者

- ・町屋駅前銀座商店街（振） 風口 誠理事長
- ・荒川銀座商和会商店街（振） 鷺見志雄理事長
- ・旭電化通り商光会商店街（振） 居串俊男理事長
- ・司会 内野国営 区商連広報委員長 小台本銀座商店街（振）

■日時 4月1日（水）午後2～4時

■会場 区役所6階会議室

区商連ニュースでは、前号に続き、地区商店街の現状と今後について、各商店会役員さんたちに、懇談会形式でお話を聞いた。第2回は、町屋・荒川地区を開催。今回、開催日程の都合で、荒川地区は欠席となった。

現況

司会（内野） 緊急での開催にも係らず、参加ありがとうございます。早速ですが、各商店街の加盟店や消費者動向などの現状からお話し願います。

◆商店会への未加入店舗が問題

風口（町屋駅前銀座商店街） 商店会は町屋駅前の大型商業施設サンポップマチャを含めこ

の周辺で60数店舗、それとマークスタワー内の医療関連などで構成されている。会の課題として、近年の傾向だが、地域の大手系列店から、会費などの分担金徴収が難しい事がある。

また、会員構成が物販店に比べ、医療関連やサービス業が多い事もあり、商店街イベントの販促効果を必要としていないため、会の運営として仕掛ける回数が年2回程度と少ない。

鷺見（荒川銀座商和会） 現在の正会員は67、68店、協力会員が約70店、それ以外に会費でなく、施設管理費の名目で分担金をお



願いしている店舗が70店近くある。全体で約200店の組織。商店街は広い幹線道路に面して約600mほどあり、目測で把握であるが、駅から200m位までは人通りが多く、離れるにしたがい急に減少している。居串（旭電化通り商光会）商店街区が700mと長く、集中して店舗が配置されていないため、まばらな状況が現実。会員数は現在約60店あるが、物販飲食などが約20店舗。駅近の利便性のない地域のため、来街者は減少の傾向にある。いくつか出店している大手物販店には、地域貢献として分担金の徴収をお願いし、成果を上げている。



町屋地区のメインストリート、尾竹橋通り



区商連広報委員長、内野氏

◆イベントは工夫しながら実施
 風口 当地域では商店街が主体では

商店街事業



町屋駅前銀座、風口氏



荒川銀座商和会、鷺見氏

司会 近年、どこの商店街も後継者
 難や経営者の高齢化など、問題は山
 積していると思いますが、各商店会
 事業の活動状況など、現状について
 お聞きしたいと思います。



旭電化通り商光会、居串氏

商店会として、独自のイベントは年
 2回ほどだが、このサンポップ出店
 の役員もおり、ここでの催事も加え
 ないが、会の大きなウエイトを占め
 るサンポップマチヤが独自にサン
 ポップ寄席や各種の文化講演など、
 通年で多くの集客事業を開催してい
 る。駅に隣接している事で来街者も
 多いが、ここで開催しているイベン
 トが、町屋地区の文化的情報発信と
 して、集客の力になっている。

私が把握している限りでは、商店
 街には空き店舗が3店ある。しかし、
 家主が貸さないのが統計的には空き
 店舗はゼロになっている。
 今後、空き店舗が出ると思うが、
 それでも駅近の利点もあり、貸し店
 舗になれば、飲食系が多い問題はあ
 るが、出店者が出てすぐに埋まる。

ると、商店会活動はかなり頑張っ
 ている。
 鷺見 昔の話であるが、町屋駅周辺
 には映画館が5館、ボーリング場が
 3ヶ所もあり、大勢の人で賑わった
 時代もあった。その当時は、営業時
 間が長く、夜遅くまでお店の灯りが
 あり賑やかだった。現在も出来るだ
 け遅くまでお店を開くよう、声掛け
 しているが、だいたい午後7時くら
 いが限度。昔と比べて夜間の賑わい
 時間は短かくなっている。

通院・入院・抗がん剤・診断一時金
 \NEW/
**新 生きるための
 がん保険 Days**

女性特有の
 がんにも
 手厚い
 \NEW/
**新 生きるための
 がん保険 Days**

すでにアフラックの
 がん保険に
 ご契約の皆様
 \NEW/
**新 生きるための
 がん保険 Days+**

アフラック
 最新のがん保険、
新登場。

since 1974
 はじめてダック

◎商品の詳細は「契約概要」等をご覧ください。

■募集代理店(アフラックは代理店制度を採用しております)

株式会社ゼンシン

☎0120-447-114

〒359-0037 所沢市くすのき台3-10-3

(引受保険会社) 「生きる」を創る。

Aflac

アフラック(アメリカンファミリー生命保険会社)

埼玉西支社
 〒359-0037 所沢市くすのき台3-18-3
 第2リングスビル2F
 Tel.04-2998-7702 Fax.04-2998-7704

AF広宣課-2014-0044-1502004 8月25日

え、行政の商店街助成制度などをフ
 ルに活用している。昨年も隣接の公
 園を使った賑わい事業、隅田川の舟
 運を活用した広域連携事業と大きな
 イベントを続けて実施した。

課題 & 今後

司会 町屋駅周辺は昭和44年に地下鉄千代田線が開通するまで、京成線と都電荒川線が通る地域で、域外への買物などの流出は少なかった。それが、地下鉄千代田線の開通で、地域が便利になる期待を持たれた反面、都心にも出やすくなり、マイナスマ面もあったようだ。

最後に、みなさんの町屋地区についての課題や今後の展望など、なんでも日頃思われている事をお聞かせ願います。



町屋駅前のマチャサンポップの建物(町屋駅前銀座)

◆子育て世代の誘致策を重視
 風口 町屋には、子どもが遊べるエリアが少なかったが、今まで居酒屋さんだった場所にキッズコーナーを開設。最近この認知が広まり、子育て世代が集まるようになった。
驚見 これからの商店街は、若い子育て世代を親子共、取り込んでいく仕掛けが欲しい。そこは子どもと一緒に集まり休める、母親同士が語り合えるスペースにもなる。もつと若い世代で賑わいを作れたらと思う。
居串 昨年は賑わい事業を活用し、子育て世代を対象にイベントを仕掛けたが、今年は、プレミアムお買い物券の事業が中心になって、なかなか新規のイベント開催は難しい。



尾竹橋通りを片側交通規制してイベント実施(荒川銀座商和会)

◆下町の良さ、地域の交流を

風口 町屋駅に隣接している商店街ということもあり、現状の集客は恵まれている。ただ、住宅が高層化され奇麗になった反面、隣近所の交流が減少、下町の人情のような良さが少なくなった。

商店街も個人経営の店舗が減少、同時に人的な組織力や動員力も落ちている。もう一度、地域や近隣のつきあいを見える形にして地域の文化を創っていきたい。

町屋文化センターのふれあい広場でのイベントには、地域の若い世代が子ども連れで多く集まり賑やかだった。演劇ができる劇場のような文化発信の拠点があればと思う。



尾久の原公園を使って商店街イベント(旭電化通り商光会)

驚見 商店街として、お盆と暮れの2回のイベント実施は必須条件。
 最近のお店は、スタッフが少なく、商店会への参加が難しくなった。イベント開催は街ぐるみで取り組まないといけない時代になって来た。

町屋地区に若い人が来やすく、楽しい場所に、町ぐるみで考えていかないと成功しない。これから良い意味で、下町の良さを出していきたい。
居串 商店街活性化の特効薬はない。昨年の子育て世代を意識したイベントも、止めないで続けることが大切。開催のハードルは高いが何らかの工夫をしてみたい。

商店街単独でのイベント実施は厳しいが、地域や自治会と協力し、地元神社を使い、お祭りのイベントを開催することで、人が集まる理由付けになる。神輿がでる、縁日が出るなどで地域が賑わう。そして、地域にご利益を。こんな好循環も期待できるのではないだろうか。

編集後記 第2回の懇談会は編集の都合で、4月早々という慌ただしい時期に急遽実施。そのため荒川地区商店会が不参加。荒川の商店会には、今後の懇談会に参加できる機会を設け、お話を聞きたい。

また、今回の参加は3団体と少なかったが、町屋地区の各会の概況や取り組みが約2時間、詳細にお聞きできた。紙面の都合もあり概要の紹介とさせて頂いた。